



第85回月例研究会 「グローバルサーマリズムー日独温泉共同研究の挑戦」

■ 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会
非営利団体地域活性学会

■ 併催：温泉療法医認定研修プログラム（1単位）

■ 日時：2019年2月14日(木) 13:30~16:45 受付 1300~

■ 会場：東京文化会館4階会議室（JR上野駅公園口前）

■ セッションテーマ 「グローバルサーマリズムー日独温泉共同研究の挑戦」

■ 講師 Prof.Dr.med Johannes Naumann



Leistungsspektrum (Kurzform)

- Naturheilverfahren
- ärztlicher Spezialist für Wannenbäder als Teilbäder und Vollbäder mit Mineral-Thermalwasser (kohlendioxidhaltig)
- ärztlicher Spezialist für „AquaFitness“ und „AquaCycling“

ヨハネス ナウマン教授 フライブルグ大学医学部 教授

BAD KROZINGEN市温泉保養施設VITA CLASSICA クリニック所長
専門分野「保養地医学全般」

- ・自然医学全般（森林浴、歩行、気候療法、運動、大気浴 など）
- ・温泉療法
- ・アクアフィットネス（湯中運動）
- ・伝統医療（漢方、指圧、物理療法（マッサージ）他）
- ・リハビリテーション

■ 講演要旨（司会：合田純人 健康と温泉フォーラム常任理事 通訳者：杉岡数幸 グリック翻訳工房代表）

ナウマン教授は、本年1月27日に来日、主に（温泉）湯中運動や自然資源を活用した予防医学（温泉浴、森林浴、歩行、気候療法、運動、大気浴等）などについて各地で講義や市民・関係者への啓発を行いながら日本の温泉地（倉吉市（関金温泉）、菊池市（菊池温泉）、竹田市（長湯温泉）、別府市（別府温泉）霧島市（霧島温泉））を巡ってこられました。その新鮮な体験を元に、日頃ドイツでの事情と日本での温泉活用の比較や、日本の温泉地及び温泉療養の実態を視察した専門家としての感想などをベースに、ケア（療養）からウエルネス（健康増進）そして、ポストウエルネス（心の健康）と進化するグローバルサーマリズムのこれからを展望し、其中で、東西の温泉先進国である日・独の温泉の社会的環境を比較しながら、温泉医学共同研究の推進と高齢化（認知症）や生活環境依存症によるストレス疾患の予防に対応する温泉の可能性に関して参加者と一緒に検証したいと思います。

（表敬訪問）



倉吉市



菊池市



竹田市